

2008年9月26日

本リリースは、ウォルマート・ストアーズ・インクが2008年9月25日（現地時間）に米国ニューヨークにて発表した英文リリースの和訳です。

## ウォルマート、全世界でレジ袋の33%削減方針を表明

年間90億枚相当のレジ袋の削減が可能に

【2008年9月25日：米国ニューヨーク発】ウォルマート・ストアーズ・インク（以下、ウォルマート）は本日、「クリントン・グローバル・イニシアチブ年次総会」において、全世界で使用しているレジ袋を2013年までに店舗あたり平均で33%削減する方針を発表しました。これにより、全世界で1億3500万ポンド（約6万トン）以上のプラスチック廃棄物の削減が実現する見込みです。ウォルマートは、この目標を達成するために、各店舗でお客様に配布するレジ袋の数を減らすと同時に、お客様に再利用可能なバッグ（以下、マイバッグ）の継続利用を奨励し、更にお客様が使用済みレジ袋をリサイクルすることを可能にする仕組みを提供していきます。

ウォルマートのサステナビリティ担当シニア・バイス・プレジデントである マット・キスラーは、「お客様のレジ袋使用量の削減と合わせて、お求めやすい価格での再利用可能なマイバッグの品揃えを拡充すると共に、使用済みレジ袋のリサイクルの機会を提供することにより、既存店分だけでも、年間90億枚相当のレジ袋を削減することが可能であると考えています。レジ袋一枚からお客様の行動変化を促すことで、我々は『廃棄物ゼロ』という最終ゴールに向けて大きく前進して行くことを確信しています」と述べています。

ウォルマートが今回発表した包括的なレジ袋削減戦略は、米国有数の環境関連NGOであるエンバイロメンタル・ディフェンス・ファンド（Environment Defense Fund：略称、EDF）とのパートナーシップを通じて策定されたもので、目標の達成により環境面・経済面での広範囲なメリットを創出すると期待されています。例えば、全海洋廃棄物の概ね60%～80%がプラスチックだと言われています。また、カリフォルニア州政府は、毎年廃棄物となったレジ袋を埋立て処理するのに約2500万ドルを費やしていると言われており、レジ袋の削減はこうした政府支出の抑制にも寄与することが見込まれます。

EDFのコーポレート・パートナーシップ担当バイス・プレジデントであるグエン・ルタは、「ウォルマートは、2013年までにレジ袋を33%削減すると公約することで、グローバルな規模での廃棄物削減の取組みを更に大きく前進させようとしています。レジ袋は、埋立地を一杯にし、道路を汚し、海亀やその他野生動物の生命を脅かし、その製造に膨大な量のエネルギーを消費します。ウォルマートのレジ袋削減に向けた革新的な取組みは、確実にビジネスと環境の両方に利益をもたらすことでしょう。これは、まさに我々EDFが提唱している考え方と合致するものであり、全世界の全ての小売業者が同様の取組みを行うことを希望しています」と述べています。

ウォルマートは、今回の取組みにより、少なくとも年間換算で石油消費量67万8000バレル、CO<sub>2</sub>排出量29万トンの削減効果が見込まれるとしています。これは、乗用車約5万3000台分以上に相当するエネルギー消費の削減を実現することを意味します。

レジ袋の削減の取り組みの一環として、メキシコ及び米国内のウォルマート店舗では、新たにより安価なマイバッグの販売を開始します。メキシコでは、今月初めから、従来のマイバッグの3分の1の値段の新商品を発売しており、また、米国ウォルマートでは、来月から50セントのマイバッグの販売を始める予定です。

レジ袋の33%削減を達成するために、2013年までに、米国内の店舗で25%、他各国の店舗では50%の削減目標が掲げられています。世界各国のウォルマート・グループ企業は、以下に列記する「リデュース」(Reduce:削減)、「リユース」(Reuse:再利用)、「リサイクル」(Recycle:再生)の三本柱を核とする戦略に基づき、各国の事情に応じて最適な方法を柔軟に選択して目標の達成に向けて取り組みます。

- 「リデュース」: レジ袋に使われるプラスチックの分量を減らすと共に、レジ袋を使う際の適正な袋詰めを徹底することで、お客様の来店一回当たりのレジ袋使用量を削減します。
- 「リユース」: 安価なマイバッグの品揃えを拡充することで、お客様のマイバッグ利用を奨励し、その利点について啓発活動を展開します。
- 「リサイクル」: 回収してリサイクルされるレジ袋の量を拡大します。

「レジ袋の33%削減」は、ウォルマートがグループ全体として今回新たに掲げる極めて高いゴールであり、各国での現在までの活動を基礎にしながら、更に創造的・革新的な取り組みを展開していくことが求められています。ウォルマートがこれまで各国で展開してきたレジ袋削減の取り組みには、以下のようなものがあります。

- **南米**: アルゼンチンでは、過去2年間にわたりチェッカーに対するトレーニングを強化した結果、レジ袋の使用量が20%削減されました。また、ブラジルでは、過去5年間、「一袋にもう一品を!」という社内プログラムにより、レジ袋使用量の20%削減に成功しています。
- **アジア**: 日本では、西友が2007年6月から「マイバッグはお持ちですか」というレジでのお声掛けや、破損しても無料で交換可能なマイバッグ(ハチドリくんバッグ)を20円で発売することで、2008年9月時点で、お客様のマイバッグ辞退率が46%にまで上昇しました。また、中国では、15種類のマイバッグが販売されています。
- **ヨーロッパ**: 英国のアズダ(ASDA)では、お客様ご自身がレジ袋を自由に持ち帰るのではなく、レジ袋を必要なお客様に必要な枚数だけを配布するように変更しました。2008年6月以来、店舗でのレジ袋の使用量は30%削減されています。
- **北米**: 米国内では、2007年10月以降に販売されたマイバッグの数量が、約10億枚のレジ袋の削減を可能にする水準に達したと推定されています。ウォルマート・カナダでは、安価なマイバッグの品揃えの拡充と使用済みレジ袋のリサイクルの改善により、過去1年間でレジ袋の廃棄物を15%削減することに成功しました。

今回発表された目標は、過去の「クリントン・グローバル・イニシアチブ年次総会」でウォルマートが宣言してきた取り組みの流れを汲むものです。ウォルマートは、2007年度の同年次総会において、米国内の店舗で販売される全ての液体洗剤を濃縮型のものに転換していくことを公約しました。この目標は2008年5月に達成され、小売業界全体が洗剤の販売形態を変換していく動きのさきがけとなりました。公約の実現により、向こう3年間で、最低でも水4億ガロン(約15億リットル)、プラスチック9500万ポンド(約4万3千トン)、ダンボール1億2500万ポンド(約5万7千トン)の節減が見込まれています。

また、ウォルマートは、2006年度の同年次総会において、「パッケージ・スコアカード」の導入により2013年までにサプライチェーン全体で容器包装を5%削減するという公約を行いました。米国のウォルマートのバイヤーは、2008年2月から、購買意思決定に際してオンライン上で取引先の「パッケージ・スコアカード」のスコアを参照することができるようになりました。取引先においても、

自社の容器包装が、ウォルマートのサステナビリティの「3つのゴール」(100%再生可能エネルギーの利用、廃棄物ゼロ化、環境に配慮した商品の販売)の実現にどのように寄与しているかを、スコアカードを共有することで把握できるようになりました。

#### 【ウォルマート・ストアーズ・インクについて】

ウォルマート・ストアーズ・インクは、米国において「ウォルマート」(ディスカウント・ストア)、「スーパーセンター」、「ネイバーフッド・マーケット」、「サムズ・クラブ」を運営しています。米国以外では、アルゼンチン、ブラジル、カナダ、中国、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、日本、メキシコ、ニカラグア、プエルトリコ、イギリス、そして合弁事業を通じてインドでも事業を展開しています。同社の株式はニューヨーク証券取引所に上場されています(シンボル:WMT)。

ウォルマートに関するより詳しい情報については、[www.walmartstores.com](http://www.walmartstores.com) をご覧下さい。またオンラインでの商品の販売も [www.walmart.com](http://www.walmart.com) または [www.samsclub.com](http://www.samsclub.com) でご利用いただけます。

#### 【クリントン・グローバル・イニシアチブについて】

クリントン前米国大統領が、政治・行政、ビジネス、学界、NGO などの各界リーダーに呼びかけて、環境、教育、貧困などの諸問題の解決策を討議・発表する場として2005年にスタートした取り組みで、年次総会は今年が第4回目にあたります。同イニシアチブに関するより詳しい情報については、<http://www.clintonglobalinitiative.org/> をご覧下さい。

以 上